



4



5



3

*Carpets on all floors*



いつもすっきりと片付いた状態に



6



8

1.「さすがにPCでの作業は床座だと辛いので」、キッチン横の作業スペースにだけ椅子を用意。窓の上にある円形の物体はスピーカー。2.キッチンのペンダントライトは経年変化を楽しめる銅製。3.階段もカーペット敷き。4.カーペットの原料のウールを利用した羊の置物。5.仲良し3兄妹。6・7.植栽はあったものをそのまま利用。外側にはほとんど窓がないが、庭に向けて大きく開口部を取っている。8.2階の子供部屋は中2階の寝室のロフトとつながっている。



7



2

「僕はミニマリストというほどではありませんが、物はできるだけ少なくしたいと思っています。飾る目的のものは別として、出しておく必要のないものは全部見えないところにしまっておきたいので、あらかじめ中に収める物のサイズを伝えて造り付けの戸棚を設計してもらいました」。その言葉どおり、整然とした印象の堀田家は、完成から1年半以上たった今も壁は真っ白なまま、カーペットにも目立った汚れはありません。きれいに片付いたこの家に、小さなお子さんが3人もいるとは驚きです。

「汚れが目立ちにくいツイード調を選んでいることもありですが、元々ウールのカーペットには汚れが付きにくいんです」。液体をこぼしてもすぐには染み込むことはなく、塵や埃は「遊び毛」と呼ばれる、パイルから抜け出た繊維に吸着するので、ほとんど舞い上がることはありません。掃除機をかければ、この遊び毛ごと汚れを吸い取れるので、メンテナンスも簡単です。

「小さいうちから子供の行動を制限したくないのも、今はうるさいことは言わずに、壁も好きにベタベタ触らせています」と、堀田さん。壁をクロスではなくペイントで仕上げたのは、質感や自然光が当たった時の見え方が好きだったからという以外にも、「何かあったら自分で塗れば良いと思ったから」と、明かします。その気持ちに込めるように、家中を元気に走り回る子供たち。1階から中2階の寝室、2階の子供部屋へ行き来する子供たちの足音や笑い声も、カーペットがやさしく受け止めているようです。